KEIMEI

2023
School
Guide

啓明学園中学校

Keimei Gakuen Junior High School

世界を心に入れた人を育てる。

KEIMEI

世界をつなぎ、未来に輝く。

ここから、学びが始まった。

教育３つの柱

心を育む
人格教育

キリストの教えに基づき、自己の大切さや共生するということについて学びます。
「正直・純潔・無私・敬愛」という標語は学園全体で大切にしている合言葉です。

知性を磨く
サイエンス教育

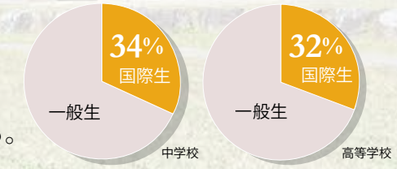
理数的な見方や考え方を活かして課題を解決することが求められている現代にあって、先進性、主体性、人間性に優れたリーダーを養成する科学教育を推進していきます。科学的な視点に立った論理的な思考力・判断力と誰とでも協働できるコミュニケーション能力・自己表現力を育てます。

世界をつなぐ
グローバル教育

海外との交流を大切に、さまざまな国の文化を体験する機会が豊富です。世界について学び、グローバルスキルを身につけ、世界のために貢献する「Peacemaker（平和を築く人）」を育てます。

毎日がインターナショナル!!

国際生の在籍率は、
中学 34％ 高校 32％。
日常の中で異文化を吸収できる。



40を超える、国際生出身国・地域

アイルランド、アメリカ、イギリス、イラン、インド、インドネシア、ウガンダ、エクアドル、エチオピア、オーストリア、オーストラリア、ガーナ、カナダ、韓国、カンボジア、ザンビア、シンガポール、スペイン、セネガル、タイ、台湾、中国、チリ、ドイツ、ニカラグア、ニュージーランド、ハンガリー、フィリピン、ブラジル、フランス、ベトナム、ベナン、ベルギー、ボリビア、香港、ポーランド、マダガスカル、マレーシア、ミャンマー、メキシコ、ロシア 他

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

本学園はスーパーグローバルハイスクール（SGH）ネットワーク参加校に決定しました。

長年にわたる英語教育・国際教育への取り組み、全国高校生フォーラムでの表彰、ラウンドスクエア・iEARN での活動などを評価していただきました。今後も、「世界を心に入れた人を育てる」という建学の精神のもと、世界で活躍できるグローバル人材の育成に努めていきます。

中高一貫教育 The Six Years Educational Plan

中学校の教育方針

6年間の長期的な教育プログラムによって育まれる価値感を活かしてただ「先」に進むためではなく、より「深く」理解するために取り組む。それが啓明学園の中高6年一貫カリキュラムの基本的な考え方です。

中学校では、すべての教科を通して、自らが学習する上で必要な言語・計算・コミュニケーションなどの基礎力を定着させます。頭も身体も心も、しっかり働かせることで格段の成長を遂げます。ワークショップ、プレゼンテーションなど、話し合いの機会をふんだんに設け、聞く力、考える力、発表する力を育みます。ICT の発展、科学技術が大きく進歩していく現代にあって先進性、主体性、人間性に優れたリーダーを養成するサイエンス教育を推進していきます。国際生（帰国生・外国籍の生徒・留学生など）が３０%以上在籍しているグローバルな環境で異文化に触れ、互いの価値観を知り、他者を理解する力を育み、キリストの教えに基づいた人格教育のもとで、人材を育てます。

1 中学１年 中学２年 ― 基礎確立期

6年間の長期的な教育プログラムによって生まれた余裕を使い、まずは勉強や調べ学習の方法を学び、基礎学力の定着を図ります。また、家庭学習を習慣化させ、自ら学ぶ姿勢が身につくように指導します。英語は全学年で習熟度別のクラス編成を導入しています。一人ひとりの学習経験に合わせた授業を展開しています。

- 習熟度別クラス（英）
- 学習ノート

2 中学３年 高校１年 ― 学力伸長期

身につけた基礎力を定着させ、伸ばしていく時期です。さまざまな文章に触れ、実践的な学習を行い、自ら考える力を養っていきます。より幅広い視野で出来事を捉え、社会に目を向けるためのさまざまな取り組みを行います。また、数学は習熟度別のクラス編成を行い、数学的な概念の習得と理解の向上を図っています。

- 習熟度別クラス（英・数）
- Peacemaking Project

3 高校２年 高校３年 ― 自己発展期

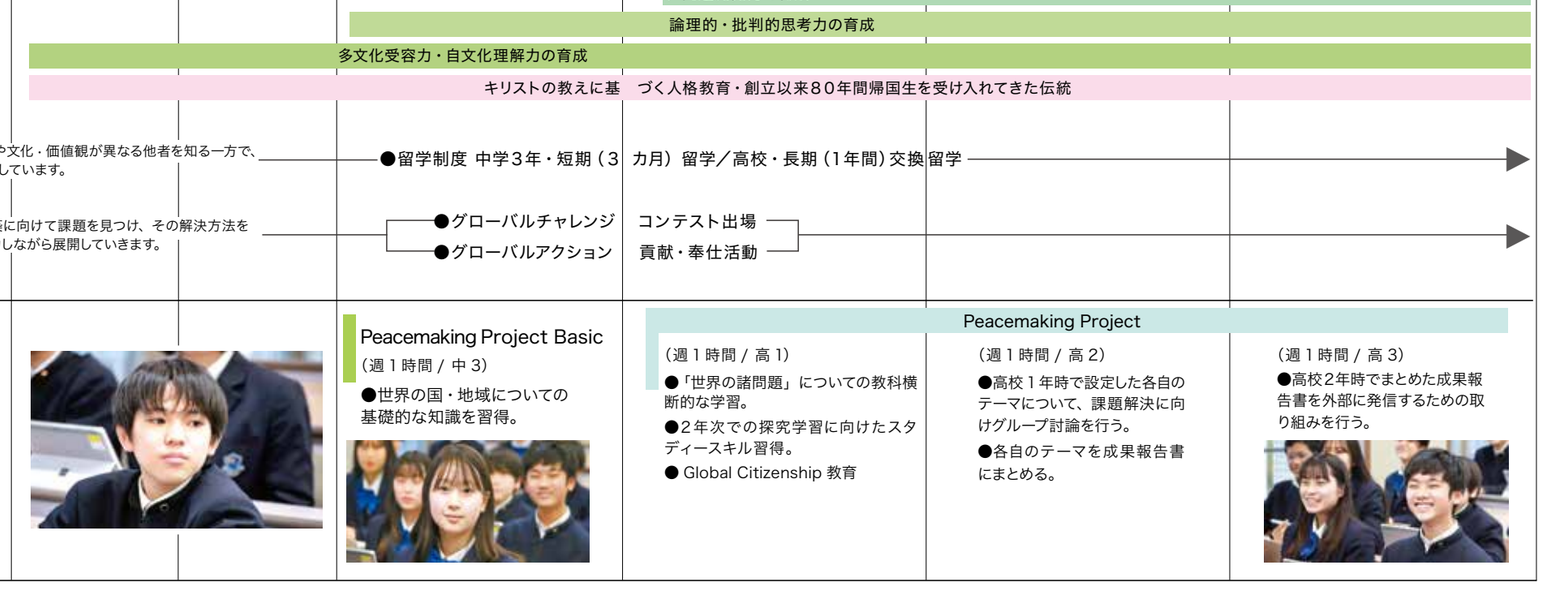
自らの進路に向けて社会的思考力を養い、自己実現を目指します。文系と理系に分かれて、専門分野の学習を深め、各々の進路に応じた知識を身につけていきます。また大学受験に必要な小論文や自己推薦文などの個別指導も必要に応じて行っていきます。

- 習熟度別クラス（英）
- キャリアサポート
- Peacemaking Project

啓明独自のグローバル教育

日常生活で一般生と国際生が関わる

さまざまな国や地域を経験している国際生と日本で育った一般生が日常生活や行事で関わり合うことにより、さまざまな価値観が共有され、視野が広がっていきます。世界とつながる啓明学園の根幹はここにあります。



世界市民を目指す

創立当初から海外との交流を大切にしてきた啓明学園には、さまざまな国の文化に触れ体験する機会が豊富です。世界について学び、グローバルなスキルを身につけ、世界のために行動する「Peacemaker（平和を築く人）」として世界をつなぐ教育を大切にしています。

- ●世界全体を視野に入れ、人間の尊厳を重んじ、他者と共に生きる自覚を持つ者
- ●言語や文化の異なる他者を知り、日本と自分自身を見つめ、自己を確立する者
- ●他者に耳を傾けつつ、確固たる信念を育み、未知の世界に臆することなく挑戦する者
- ●自ら課題を解決する力と知力を養い、新たな価値と世界を創り出す者

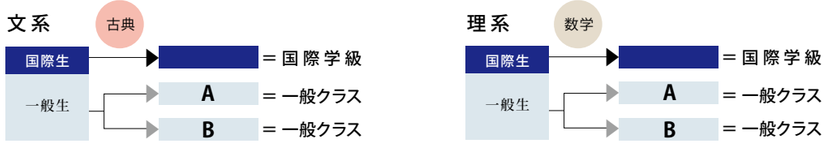
クラス編成例
選択制・習熟度別授業で学力アップ!!

一般生・国際生共に各教科ごとに編成される習熟度別クラスにより「わかる授業」で生徒それぞれの学力は上昇します。

文系・理系コースの習熟度別授業

古典　数学

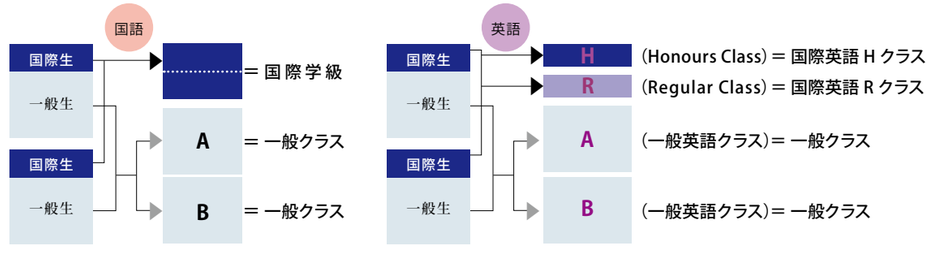
（高校２年次より）



国際学級と習熟度別授業

国語

クラス分け参考例



世界をつなぐ
Global Education

世界４０カ国以上から集まった国際生と、日本で育った一般生が日常生活や行事で関わり合うことにより、さまざまな価値観が共有され、視野が広がっていきます。啓明学園では、学内で培ったグローバル精神を、海外で実践する機会があります。

世界50カ国のラウンドスクエア加盟校との交流

ラウンドスクエアはイギリスに本部を置き、現在世界 50 カ国の私立学校約 230 校が加盟している国際的な私立学校同盟です。本校は 2018 年に正式に加盟しました。加盟校同士は、国際会議に生徒を派遣するなど、さまざまな形で自由に交流ができます。

●海外へ渡航ができなかった2021年度は、ZOOM を利用して海外の生徒とオンラインで交流しました。

ラウンドスクエア エクスチェンジプログラム

世界各国のラウンドスクエア加盟校へ最大3カ月間、交換留学をするプログラム。学費・ホームステイ代は無料です。留学先は英語圏以外からも選択できます。
＊交換留学にあたり、諸条件を満たす必要があります。

充実した海外研修 留学プログラム

啓明学園では、短期から中長期まで、さまざまな海外研修・留学プログラムを用意しています。短期はカンボジアワークキャンプ、夏休みの語学研修、隔年実施のドイツ春期体験学習があります。中長期では、カナダ公立高校へのセメスター留学、姉妹校のあるオーストラリア、アメリカ、アイルランド、カナダへのアカデミックイヤー留学があります。3カ月ごとのレポート提出など、要件を満たせば留学先の高校で履修した単位を、本校の単位として認めています。

●感染症や社会情勢により、海外研修を中止する場合があります。

カンボジア裁縫プロジェクト “Stitches for Riches”

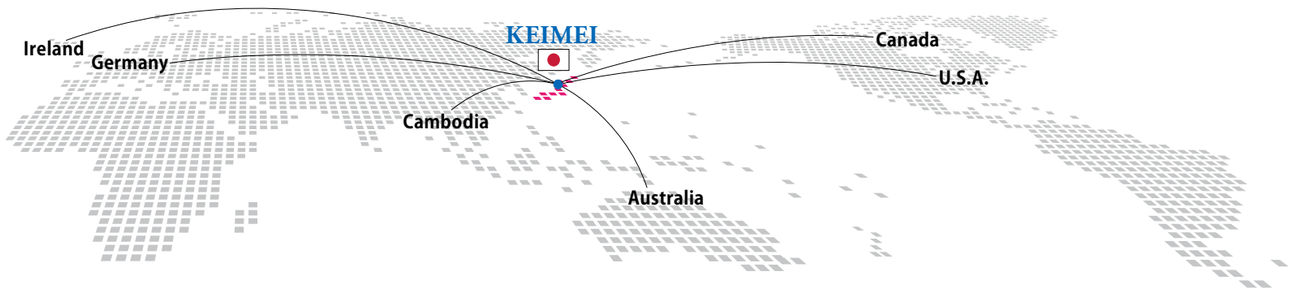
“Stitches for Riches” は、カンボジアと日本が共に豊かになれるようにという願いが込められた裁縫プロジェクトで、２０１４年より活動しています。カンボジアの子どもたちが、一人でも多く学校に行くことができるように、現地のお母さんたちと協力した裁縫活動を展開しています。

●その他：NPO 団体「Tareto Maa」、NPO 団体「シャプラニール」、グローバル企業などとの連帯、海外姉妹校との協働研究 など

Kilkenny, Ireland
キルケニーカレッジ

●平均参加者数：15 名（中２～）
●８月 ２週間

アイルランドの首都ダブリンから南西に車で約２時間。牧歌的なキルケニーにある交流校の ESL クラスで英語力を高めます。滞在中はアイルランド文化を学ぶ学校のアクティビティ等にも参加します。



Siem Reap, Cambodia
カンボジアワークキャンプ

●平均参加者数：18 名（高１～）
●7月または、8月の６週間

NPO 法人 ASAP（アジアの子どもたちの就学を支援する会）と共に行動し、支援活動の現状を学びます。現地の小学校・中学校・高校を訪問し、児童・生徒と交流を通して国際理解を学びます。

Berlin, Germany
グスタフハイネマンスクール

●平均参加者数：10 名（中２～）
●５月 １週間　※隔年実施

日本語クラスがあり、日本文化に興味がある生徒が多いグスタフハイネマン。ホームステイをしながら授業にも参加します。日独文化交流や、ベルリン市内観光も含まれたプログラムです。

Cairns, Australia
トリニティアングリカンスクール

●平均参加者数：25 名（中２～）
●８月 ２週間

ホームステイをしながら、姉妹校に通い授業に参加します。日本の文化を紹介する他、世界遺産のグレートバリアリーフや、熱帯雨林を訪れます。

San Antonio,Texas,U.S.A.
セントメアリーズホール

●平均参加者数：25名前後（中２～）
●８月 ２週間

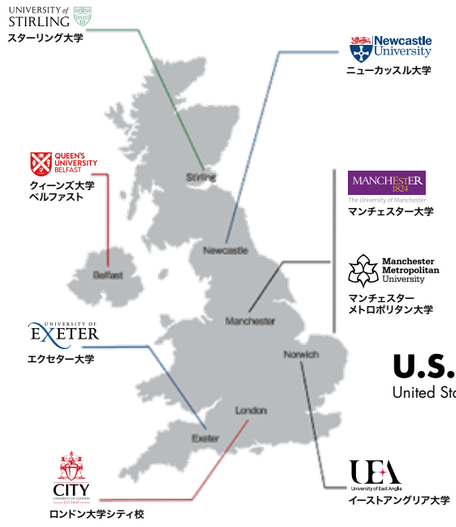
啓明学園創立者の娘で、サンアントニオ市の名誉市民である故白根直子氏と関わりの深い、歴史ある姉妹校。滞在中は授業参加、日本文化の紹介に加え、テキサスならではのカウボーイ体験をしたり、観光地を訪れます。

Ontario, Canada
アッパーカナダディストリクト
（カナダ公立高校留学プログラム）

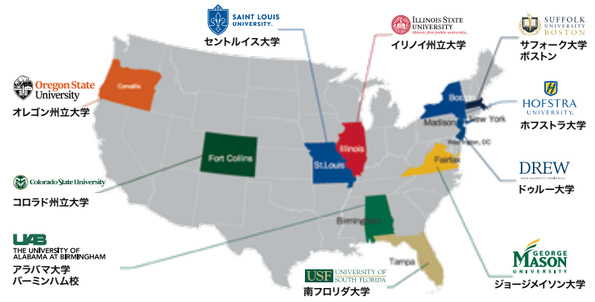
●参加者（高１～）
●6カ月間または1年間

カナダ、トロント近郊のアッパーカナダ学区の公立高校に６カ月間または１年間留学するプログラム。ESL クラスもあり、留学が初めてでも安心です。

U.K. United Kingdom



U.S.A. United States of America



●2022 年４月現在の協定校です。協定校は変更となる場合があります。

海外大学への進学を目指して

海外協定大学推薦制度 UPAA

本校は、2019 年に UPAA（海外協定大学推薦制度）と協定を結び、イギリスとアメリカの協定校18 大学への学内推薦が可能になりました。この制度では、海外協定大学共通の願書によって、最大で ４大学まで出願できます。

特徴的なプログラム

数学的・理科的な見方・考え方を育てる

学園では毎月2回、話題性のある科学の内容を「サイエンス通信」として生徒・保護者に配信をしています。
中学の授業としては、数学は週6時間、理科は週4時間が組まれています。

数学強化

数学科では用語の正確な理解や計算力をしっかり身につけると同時に、
数学的思考力・発想力・表現力を育てています。

学習した内容を理解し定着するために、中1、中2は習熟度クラス編成での授業が週1時間、中3は週5時間組み込まれます。生徒のレベルに合った授業サポート体制ですが、放課後にも希望者を対象とした標準と発展のレベル別講習を実施しています。また、教科書の内容を学ぶ以外に全学年週1時間、日常にある数学を探す授業「Math Quest（マスクエスト）」を他教科（美術・音楽・理科など）と共に取り組んでいます。

●中学1年　マスクエスト　数学×理科　「樹木が吸収する CO_2 量を求めよう」授業風景

理科強化

理科では中学3年間を通して理科（科学）の考え方およびそれを学んでいく上での
基本的な技能を身につけることを目標としています。

1分野・2分野それぞれ連続2時間の授業の中で、基本的な法則や自然の仕組みを理解し、実験や観察を中心にして身につくように取り組んでいます。また、研究の方法やまとめ方についても学んでいけるように段階的に取り組んでいます。中1では夏休みの課題として全員が1冊の科学関係の本を読み、学んだことをレポートにまとめ、文化祭で展示します。中2では夏休みに「自由研究」として、各自の興味関心に応じた研究を行い、2学期にクラスで発表します。また、優秀な研究は3学期に「学習発表会」で中学校全生徒の前で発表します。中3では、1年間をかけて「課題研究発表」に取り組み、テーマ選びから、実験・観察・調査・まとめ（論文）・発表を1人で行うことによって、興味ある分野の理解を深め、研究する能力を身につけます。

●月の満ち欠けのしくみについてモデルを使って調べる実験
（中3 理科2分野）

●学習発表会の様子

●中学3年　マスクエスト（数学×理科）
「区画法を用いてクローバーの数を推定しよう」授業風景

ICTの強化

昨今の情報関連機器の変化は著しく、100年に一度の産業革命といわれるこれからの社会の中で、PCによるデータ処理は必須のスキルとなります。本校では1人1台タブレットPCを所持し教育活動で活用しています。生徒一人ひとりの自律した学習を支援するためMicrosoft Teamsを導入し、個に応じた学習環境の整備を進めています。また「総合的な学習の時間」では、ビデオ会議や資料の共同編集などの機能を活用しながら、課題の解決に向け生徒同士が自主的に学び合っています。

国際学級

Multilingual Support System

本学園は、一人ひとりが持っている「言語」をサポートし、その成長を支えるための「国際学級（マルチリンガル サポートシステム）」を提供しています。「国際生」には、海外からの帰国生、国内インターナショナル校出身者、外国籍を有する者、留学生などが含まれます。国際生は全員、一般生と同じホームルームクラスに在籍し、教科ごとに必要に応じて国際学級の取り出し授業を受けます。

マルチリンガルサポートシステム

国際生一人ひとりが持っている「言語」を維持し、加えて生徒個別の習熟度に合わせ学力の向上を支えるシステムです。

生徒一人ひとりを万全フォロー
「言語や文化を尊重」

建学の精神に基づき、海外で学んできた言語や文化を大切にしつつ生徒の力を伸ばしていきます。

一人ひとりの言語力に合わせて
「オーダーメイド時間割」

国際生一人ひとりの言語力・学習歴に合わせ科目ごとにクラスを決めます。その生徒に合った時間割を作成します。

学習プログラム

習熟度別にクラス分けを実施
「国際英語クラス」

●国際英語クラス
・国際英語Hクラス（オナーズ／Honours Class）
・国際英語Rクラス（レギュラー／Regular Class）
Hクラス、Rクラスともネイティブの英語教師が担当し、海外の教材を中心とした学習を行います。
●一般英語クラス
一般生の英語も習熟度別に分かれて学習します。

専属の日本語教師が指導
「日本語コース」
（JSL：Japanese as a Second Language）

日本語が第一言語ではない在日外国人の生徒、海外生活の長かった日本人の生徒のためのコースです。専属の日本語教師が、日本語力を伸ばす指導を行っています。

未学習領域を「取り出し授業」で！
「国・数・理・社サポート授業」

日本の教育課程で学習してこなかった生徒に対して、未学習領域の学習をサポートする授業です。取り出し授業の形式で学習し、一般クラスで十分対応できるレベルに到達した時点で、一般クラス学習に移行します。国語、数学、理科、社会に対応しています。

英語以外の授業実施
「外国語保持クラス」

英語圏以外の国・地域からの国際生には、その言語を維持・伸長するための授業を提供しています。
フランス語、ドイツ語、コリア語、中国語、スペイン語の授業が受講できます。（2022年4月現在）

国際理解の日（中1〜中3）

国、地域、世界のさまざまな課題について、自分たちの力であらゆる視点から調べ、話し合い、考えたことを発表します。代表生徒の発表に加えて、テーマに関連する国に詳しい海外の専門家を招き、自分たちと世界のつながりを感じる学校行事です。

グローバルワークショップ（中1〜中3）

「自分の身の回りのことから世界を考える」を主なテーマとしてワークショップを実施。講演を聞くだけではなく、中学1年から中学3年の混成グループでディスカッションする機会を設けています。高校生になると、より具体的に国際問題とその解決方法について学んでいきます。

選択授業

- **第二外国語**（高2〜高3）
- **国際理解**（高3）
- **日本文化理解「茶道」**（高3）

高校2年から、中国語、コリア語、フランス語（各2単位）を選択することができます。英語以外の言語を学ぶことで、世界の多様性を実感します。英語・外国語スピーチコンテストで学習の成果を発表します。

選択科目「国際理解」（2単位）は、現代国際社会における共通した問題について学び、その解決に向けて自分たちで何ができるかを検討します。そして、実際に自分たちでできることから行動に移していくワークショップを中心にした授業です。

日本の伝統文化についての知識と素養を身につけ、それを海外の人々に伝えられるようにします。高校3年では選択科目「茶道」を受講することができます。

カリキュラム／教科紹介

Curriculum/Subjects

各教科の内容がより魅力的に伝わる授業で、生徒たちの興味・関心を喚起。ただ知識を身につけるのではなく、生徒一人ひとりが将来究めたい学び、進みたい道を見つけるきっかけをつくります。

2022年度入学者の教育課程表

	1年	2年	3年	合計
国語	5	5	5	15
社会	4	4	3	11
数学	6	6	6	18
理科	4	4	4	12
音楽	1	1	2	4
美術	2	2	1	5
保健体育	3	3	3	9
技術家庭	2	2	2	6
英語	5	5	5	15
聖書（道徳）	1	1	1	3
特別活動	1	1	1	3
総合的な学習の時間	2	2	2	6
週時間数	36	36	35	107

●総合的な学習の時間のうち、1時間は「英会話」です。英語の授業は実質6単位となります。残りの1時間は中学1・2年では「国際理解の日」をはじめとするさまざまな行事を行います。中学3年では「Peacemaking Project Basic」の授業を充当します。高校ではこれらを発展させて、各学年で Peacemaking Projectを週1時間配当します。数学の1時間は探求型授業の「Math Quest（マスクエスト）」です。

英語

「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能だけでなく、「思考力」を加えた5つの能力をバランスよく育てることで、自分の考えを積極的に発信できる英語力を身につけます。日常生活の中で異文化に触れることのできる啓明学園ならではの、コミュニケーションを重視した英語教育を行っています。

「充実した英語学習」

啓明学園の英語教育では、一人ひとりの英語力に合わせて Speaking・Reading・Listening・Writing の4技能を強化し、Thinking を加え発展させていくことを重視します。また、英語を学ぶことを通して、異文化に対する理解を深め、豊かな人間性を育み、グローバル社会で活躍できる人材を育成しています。

「習熟度別クラス」

国際英語は Honours と Regular の2クラス編成、
一般英語のクラスは3クラス編成

●一般英語クラス

一般のクラスは、英語の授業を週６時間設けています。通常の授業は日本人教員が担当していますが、週１回ネイティブ教員と日本人教員のTT（ティームティーチング）による英会話授業を設け、聞く力と話す力を強化しています。また、2学期までに検定教科書を終わらせ、３学期は Pearson、Oxford、Macmillan などの洋書を扱い、英語独特の言い回しや表現方法を学ぶとともに、物語を読む面白さを味わいます。

●国際英語クラス

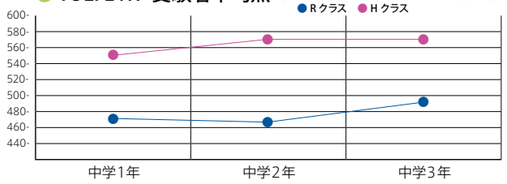
英語圏帰国生中心のクラスでは、ネイティブの教員による欧米のカリキュラムに沿った授業を実施しています。授業では欧米の文学作品に触れ、語彙や文法力の強化を図りつつ、さまざまなテーマに関してのディスカッション、スピーチ、ディベート、プロジェクトワークを行い、自分の意見を明確に述べる力をつける機会を設けています。中学1年では、英語劇を Honours･Regular 合同で制作し、発表の機会を設けています。

英検・TOEFL ITP 全員受験合格を目指す

●中学の準1級・1級の合格者6名

中学３年　実用英語技能検定取得者				
３級	準２級	２級	準１級	１級
１１名	１０名	９名	５名	１名

● TOEFL ITP 受験者平均点（TOEFL ITP　６７７点満点）



「英語ディベートコンテスト」

9月の啓明祭で行われる英語ディベートコンテストでは中学3年～高校3年までの国際生があるテーマ（「Cars should be banned？」など）についてのディベートを行い、来校者から高い評価をいただいています。

「英語・外国語スピーチコンテスト」

毎年2月に行われる英語スピーチコンテストでは、一般（暗唱・スピーチ）、国際 Honours・Regular 部門に分かれてスピーチを競い合います。英語以外の多言語によるプレゼンテーションも行い、さまざまな言語に触れる機会を設けています。

数学

中高６年間を２年ごとの３つのブロックに分け、それぞれに設定した方針のもと、基礎力の充実を図り、論理的思考力と問題解決能力を養います。

中１・中２

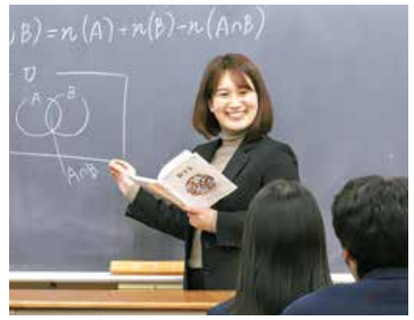
新たな発見や、数学の面白さに興味を持たせながら、算数から数学への橋渡しをスムーズに行い、基礎・基本をしっかりと身につけることを目標とします。授業では算数からの継続的な内容、社会とつながる数学的内容、新たな数学的思考を交え、一般化・抽象化の考え方を育てます。

中３・高１

応用・標準・基礎の２～５クラスに分けた習熟度別クラスを編成し、個々の適性や理解力に応じて、さまざまな事象を抽象化して考える力を養います。授業では各クラスの習熟度に合った教材を使用し、年齢とともに身につく抽象的・論理的な思考力をより確かなものに育てます。

高２・高３

個々の進路に応じた論理的思考力と知識・技能を養います。理系進学生徒、並びに経済学などを志望し、数学的教養を深めたい生徒は、その専門分野で要求される、より高度な数学の概念を学習します。また、高３では数学Ⅲ・数学Ｃに加え、演習科目として数学ⅡＢ演習・数学ⅠＡⅡＢ演習・数学ⅢＣ演習を設けています。



教科紹介
Curriculum

国 語

時代やジャンルを超えたさまざまな文章に触れ、豊かな感性、論理的読解力を育みます。また、表現分野の取り組みを通じて、国際社会で活躍するために必要となる、思考力や発信力の向上を目指します。

中学の授業内容
「基本的な読解力、思考力、発信力の育成」

文章を正確かつ丁寧に捉えることができる読解力、作品理解力の向上を目指すとともに、自分なりの考えをまとめる力の向上を目指します。また、週のうち1時間は「表現」の時間とし、思考力、文章力、発信力などを重視した授業を行っています。日本語のスピーチコンテスト「私のメッセージ」には、全員がクラス予選に参加し、自分の考えを発表することの楽しさや難しさを経験します。

高校の授業内容
「世界を視野に入れた思考力、発信力の育成」

現代文、古典といった基本的な科目においては、古今の多岐にわたる文章に触れることによって、複雑な人間心理や、さまざまな考え方、価値観を学ぶとともに、豊かな感性、論理的読解力を涵養します。また、演習や小論文などの授業を設け、多様な進路に対応するカリキュラムを用意しています。

社 会

教科の本質にせまる問いを中心とした授業デザインにより、生徒が主体的に学びに向き合う姿勢、問いに対して論拠を提示して、自らの考えを表現・発信する力を育成します。

中学の授業内容
「覚える」ことだけでなく「考える力」を養う

歴史上の出来事の因果関係を資料・史料をもとに論理的に思考する力。その地域の地理的な特色を気候と地形の関連性や図表から読み取り表現する力。政治的・経済的な出来事に、どのような思想的背景があるのかを考察する力。単なる知識の獲得ではなく、「論理的な思考力」「自らの思考を発信する力」を養成することが、社会科における学習の中心となります。また、各教員が自らの専門性を活かし、生徒の知的好奇心をくすぐる魅力ある授業を展開しています。

高校の授業内容
「自らの社会的思考を鍛え、価値観を形成する力」を養う

各科目における重要な概念の理解、本質的な問いを中心とした授業実践やパフォーマンス課題の実施により、各科目の知識・理解を深めるとともに、メタ認知やメタ学習の能力の育成に取り組みます。

理 科

実験や観察を通して、能動的に自然現象と向き合いながら興味・関心を持続させ、理科に必要な考え方や知識を学びます。さらに問題や考察から、それらを応用する力も養っていきます。

中学の授業内容
「実験や観察を通して、自然現象を理解する力」を育成

実験や観察を通じて、自然現象と向き合い、結果について考察した内容を発表し合うことで、理科の考え方や法則について理解を深めていきます。また、中学1年では「科学読書」、中学2年では「自由研究」、中学3年では「課題研究発表」を行い、課題を自ら発見し、解決に向けて考察する力、科学に対するさらなる探究心や表現力を高めていきます。

高校の授業内容
「自然現象の理解を通して、科学的な視点から問題発見・問題解決ができる力」を育成

高校1年で、生物・化学、高校2年で物理の基礎内容を学び、高校2年からは進路に応じた選択履修となります。理系選択者は、各科目の専門性を高め、知識・理解を深めていきます。実験や観察の結果をまとめ、考察する過程を通じて、自然現象・法則の知識・理解を深めるとともに、結果を的確に分析、解釈し、導き出した答えを表現する力を養います。また、大学入試に対応する問題演習も行っています。

聖 書
（道徳）

「隣人を自分のように愛しなさい。」

本校の創立者である三井高維先生が定めた「キリストの教えに基づく人格教育」とは、さまざまな事が目まぐるしく変化する社会の中で、「世界を心に入れた人を育てる」ための柱として立てられたものです。「人類の古典」である聖書の言葉を通して自己を見つめるとともに、違った文化、価値観の学びを通して他者やさまざまな存在との「出会い」の大切さを学びます。グローバル化する現代社会だからこそ、自己を見つめ、さまざまな出会いを大切にすることは、真の世界市民としての教養を身につけるうえで大切なことです。聖書はそのような、世界において「生きる力」を共に学び、考える科目です。

音 楽

中学1年生では楽典・実技（歌唱・器楽）・鑑賞などを通じて音楽の楽しさや基本的な表現力を養います。中学2年生では歴史的背景からの知識を取得し多角的に表現の幅を広げて行きます。中学3年生では個人の技術向上や他者とのハーモニーを大切にし豊かな情操を養っていきます。

美 術

中学1年生では絵画・木彫制作などを通じて美術の楽しさと基本的な造形力を養います。中学2年生ではデザインなどの思考力、発想力を主体とした造形力を鍛えていきます。中学3年生では3年間のまとめとして自己の表現を確立し豊かな情操を育んでいきます。

保健体育

体育では各学年クラス合同男女別で授業を行っています。3年間を通してさまざまな競技を学んでいきます。競技としては、陸上競技、器械運動、球技（バスケットボール、バレーボール、テニス、サッカー、ソフトボールなど）、武道（柔道）、ダンスを行います。2学期後半には、学園の周辺を走り、持久力の向上に励んでいます。
保健では「心身の発達と心の健康」、「健康と環境」、「傷害の防止」、「健康な生活と病気の予防」の4単元を学びます。特に、心肺蘇生法の学習では実技講習を用いて実践力の育成を図っています。

技術・家庭

技　術
工具を使って物を作る、PCを使って作業するなど、生活に直接役立つことを目的に学習します。

家　庭：中学の授業内容「作るたのしさ・喜びを養う。」
高校を卒業して、自分の道を歩み始めたときに、存分に自分らしい生き方や人生を歩めるように生活自立と創造の基礎を学びます。実習を多く取り入れ、手を動かし、作る楽しさ、喜びを養っていきます。高校では、テディベアを作り、民族衣装について調べ、テディベアに民族衣装を作る、という課題を出しています。

サポートプログラム
Support program

学習効果は学びのスタイルで変化します。これからの時代の学びは「自らの学び」が中心となります。力に応じた学びの提供と自学自習の支援は一人ひとりの学習意欲を支え、学力を向上させます。

習熟度別クラス

学習の理解の度合いに応じ、ホームルームクラスとは別に編成されるクラスです。英語では中学1年から習熟度別クラス編成を実施します。国際クラスと一般クラスに分かれ、一般クラスの中でも学習の理解度に合わせて、段階に分かれた学習をします。数学では中学1・2年生でホームルームクラスでの学習、中学3年から習熟度別クラス編成での学習となります。また、文系・理系に分かれる高校2年からは生徒数や科目の特性に合わせ、習熟度別クラス編成を実施します。

中間報告

1学期と2学期にある中間テストの終了時期に合わせて、テストの結果と学習の様子をお知らせする中間報告という制度を設けています。中間報告は、本人への通知はもちろん保護者の方にも生徒の学習状況をご理解いただく確実な手段です。特に、学習姿勢や理解度について不振な状況にある場合には、学期末の評価がつく前に振り返り、その改善を図る有益な機会となります。担任や教科担当から所見をお知らせし、必要に応じて二者または三者の面談を行います。

自学自習支援

学力の伸長には、学習習慣の確立が欠かせません。自学自習を支援するため、放課後に自習室を開設しています。落ち着いた環境の自習室は、下校時刻後も開室しており、部活動後の利用も可能で、生徒の学習意欲を全面的にサポートします。

夏期・冬期特別学習

長期休業を利用して中学1年～高校1年は国・数・英の3教科、高校2・3年は理・社を含めた5教科について夏期（前後期の10日間）・冬期（4日間）の講習を実施しています。中学は、基礎学力を固めるとともに、生徒の知的好奇心を刺激するような発展的な問題を扱います。高校では、共通テスト・2次・私大対策を中心に実践力を養います。例年、夏期は中高合わせて50講座以上が開講され、多くの生徒が受講しています。また、高校生になると、1・2学期に朝・放課後の講習を実施し、一般選抜対策の講座が開講されます。

キャリアプランニング Career Planning

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
	自分自身を知る		自分の夢を描く		自分の進路を実現する	
テーマ	集団の中の自分を知る	社会の中の自分を知る	自分の夢を探す	学問を知る	学部学科を知る	自己実現を目指す
	啓明学園でのスクールライフを通して自分と向き合い、社会の中でどのような人になりたいのかを思い描きます。自分と社会について知ることは、大きな夢に向かう第一歩です。			大学や学問についてのガイダンスを通して、将来の夢や目標を実現するにはどのようなステップがあるかを学びます。高校２年次に、進路実現に向けて最良の決断をします。		
展開	＊二者・三者面談					
	＊オリエンテーションキャンプ	＊職場訪問	＊卒業生体験談 ＊ファイナンスパーク	＊進路ガイダンス ・文理選択 ・学問系統別説明 ＊進路受験体験談 ＊進路希望調査	＊大学模擬講義 ＊進路ガイダンス ・進路実現に向けて ＊進路受験体験談 ＊進路希望調査	＊入試ガイダンス ・受験に向けて ・共通テスト出願説明 ＊進路希望調査
				＊オープンキャンパス参加 / 総合型(AO)･学校推薦型対策		

キャリアプラン ピックアップ

●中1　自分を知る
オリエンテーションキャンプ
中学校生活のスタートを切る、最初の行事です。新しい仲間とのディスカッションやレクリエーションを通して、お互いを理解し合い、自分の役割を見つけます。

●中2　社会を知る
職場訪問
さまざまな職種・業種の現場を訪問し、働くことの意味を考えます。礼儀と感謝の大切さを実感しながら、自分を取り巻く社会への視野を広げます。

●中3　夢を探す
卒業生体験談
卒業生を招き、先輩のメッセージから将来につながるヒントを見出します。自分の未来の姿を想像するためのきっかけづくりや、そのために今何をするべきなのかを考えます。

●高1　学問を知る
学問系統別説明
高校1年次は、大学の先生や入試担当者に学問内容の紹介をしていただきます。各自の興味関心に応じて系統別に分かれてガイダンスに参加し、学問分野への理解を深めます。

●高2　学部学科を知る
大学模擬講義
高校2年次では、大学の先生に模擬講義をしていただき学問の本質を学びます。どこで何を学べて研究できるのかを知り、卒業後の学問の方向性を考えます。

●高1・高2　大学を知る
進路受験体験談
卒業生や高校3年生の受験体験談を聞き、受験勉強への取り組み方を学びます。
「継続は力なり…」先輩の声は在校生に響きます。

●高3　自己実現を目指す
総合型(AO)・学校推薦型対策
進路選択では、基礎学力の向上が必要不可欠であることは言うまでもありません。ただ、近年の入学者選抜方法の多様化に伴い、生徒の適性を見て、総合型(AO)・推薦型対策も着実に行います。目指す分野に関する知識を深め、そこからどうしてその分野を学びたいのかをしっかり考えて小論文・面接の練習をしていきます。生徒が納得するまで、時間をかけ指導するのが啓明スタイルです。

●中1～高3　自己実現を目指す
中学学力推移調査・高校模試の実施
年間を通して定期的に、全国規模の模擬試験(中学では学力推移調査)を受験し、各自の学力レベルを測定します。結果に一喜一憂するのではなく、各自の弱点を把握し、今後の学習へのアドバイスを行うことが目的です。また、中学入学から高校3年の6年間の個人のデータを蓄積し、学力や学習時間の推移を把握するとともに、進路選択における資料として有効に活用します。

●主要大学現役合格実績

国公立大学	2021	2020	2019	2018	2017
東京外国語大学		1			1
東京学芸大学	1			2	
東京農工大学			1		
筑波大学		1			
横浜国立大学			1		
防衛大学校				1	
私立大学					
早稲田大学	5	3	1	4	6
慶應義塾大学	1			1	1
上智大学	5	7	3	8	12
東京理科大学	1		3	2	1
国際基督教大学	3	1	2	1	2
青山学院大学	5	4	4	4	2
立教大学	9	1	1	1	12
明治大学	2	2	1	2	
中央大学	1	2		2	5
法政大学	4	3	1	4	8
学習院大学	3	1	4	4	3

私立大学	2021	2020	2019	2018	2017
関西学院大学	2	1	1		2
杏林大学	1	8	1		2
北里大学		4			
順天堂大学	1	3			
立命館大学		1			1
立命館アジア太平洋大学	1	2	2	1	
成蹊大学	3	1	2	1	2
成城大学	1				3
明治学院大学	3	3	2	1	
武蔵大学	3	1			
獨協大学	2	1	2		4
芝浦工業大学			1	2	
津田塾大学					1
東京女子大学	2	1	1	1	1
日本大学	3	5	1	3	7
専修大学		3	1		
東洋大学	2		1	2	1
駒澤大学			1		1

GRADUATE'S VOICE
生徒一人ひとりに寄り添い、個性を大切にしてくれる学校です。

2022 年卒業　永井 駿晴
●慶應義塾大学　環境情報学部

啓明学園で出会う多様な生徒や多彩な行事は、自分を豊かに成長させてくれます。このような機会に溢れているのは、帰国子女をはじめとした様々な価値観や背景を持つ人と共に学び、高めあうことのできる学びの庭が備わっているからです。啓明学園ではディスカッションをする機会も多く、自分で問題を発見し解決する力をつけることができます。加えて多言語スピーチコンテストや私のメッセージなどの発表の場を通して、多角的な視点から物事を捉える力もつきます。また国際社会で活躍するための学習として留学や帰国生の受け入れが盛んに行われており、様々なチャンスにも恵まれています。私が中学３年生の時に行ったテキサスでの短期留学の経験は、その後の大学の進路決定にも大きく影響しました。信頼できる先生や友人達と過ごした６年間は、私を豊かに成長させてくれました。啓明学園を通して得ることのできたものは将来も活かされると信じています。

GRADUATE'S VOICE
国際生がのびのび学べる多様性に富んでいる啓明学園。

2022 年卒業　大野 恋世吏
●明治学院大学　心理学部

啓明学園は先生方が親身になってくれる学校です。生徒のやりたい事や、悩みなどを親身に聞いてくれます。私は勉強で分からないことがあったら先生が放課後にマンツーマンで教えてくれて苦手教科を克服できました。また、国際生を受け入れている学校のため、色んな国や文化を受け入れ、人の違いを認められる生徒が多いことも魅力です。多様性に富んでいる啓明学園だからこそ、自由に学び成長ができます。私は啓明学園だからこそ自由にのびのび学び成長できました。

COLUMN 成人式
2018年度フレンドシップ賞受賞者　宮田　朝

大好きな啓明学園を卒業してから早２年、この度成人式を行うことができました。私の人生の半分以上を過ごした啓明学園で成人のご報告ができたこと、そして久しぶりに仲間と先生方と再会できたこと、とても嬉しいものでした。また同時に、昨今の社会情勢が不安定な中で開催できたこと、これは柔軟な対応をしてくださった先生方、そして家族、開催準備を手伝ってくれた仲間のおかげです。この場をお借りして感謝いたします。

大学に入学して以来、私が啓明学園で受けてきた教育がいかに有意義なものだったか、教育学を専攻する中で幾度となく考えさせられました。久しぶりに再会した仲間からは刺激を受け、改めて啓明学園は私にとって大切な居場所だということを感じました。在学中からの夢だった北泉寮の前で振袖を着て写真を撮ることも叶い、感無量です。これからも啓明学園での学びを大切に、立派な社会の一員となるべく、努力を惜しまず頑張っていきたいです。

※フレンドシップ賞　クラス、学年を問わず最も他者に対してフレンドシップを発揮した生徒に贈られる賞で、高校３年生全員の投票で男女一名ずつ選出されます。

年間行事
Annual Events

年間行事では、一人ひとりの生徒が楽しみ、学びを共有して広い視野を身につけます。

4月
- ●入学式
- ●イースター礼拝
- ●オリエンテーション キャンプ（中学１年）
- ●創立記念日（4月22日）

5月
- ●中間テスト
- ●体験学習（中学3年）
- ●海外体験学習（希望者）

6月
- ●運動会
- ●芸術鑑賞教室

7月
- ●集中テスト
- ●夏期特別学習

8月
- ●海外体験学習（希望者）

9月
- ●平和の日礼拝
- ●啓明祭

10月
- ●中間テスト

11月
- ●合唱コンクール

12月
- ●集中テスト
- ●クリスマス礼拝

1月
- ●学習発表会
- ●私のメッセージ

2月
- ●英語・外国語スピーチコンテスト
- ●国際理解の日
- ●卒業感謝礼拝（中学3年）

3月
- ●集中テスト
- ●卒業式

生徒の１日
School Day

School Open

8:30 朝のホームルーム

1時限 8:50

9:50 2時限

3時限 10:50

11:50 4時限

昼食 Lunch

12:40

13:20 5時限

14:20 6時限

自習室
15:30～19:00
最終下校19:00

課外活動
15:30～17:30（18:00）
※冬期と夏期

School Closes
最終下校

クラブ活動
Club Activities

●運動部
- ●サッカー部
- ●バドミントン部
- ●男子バスケットボール部
- ●女子バスケットボール部
- ●テニス部
- ●軟式野球部
- ●ゴルフ部
- ●バレーボール部
- ●陸上部
- ●ダンス部

クラブ活動では、クラスや学年を超えた出会いの中で、絆を育みます。

●文化部
- ●演劇部
- ●美術部
- ●サイエンス部
- ●文芸アニメ部
- ●ブラスバンド部
- ●家庭科部

●その他の活動
- ●柔道会早朝稽古
- ●JRC（青少年赤十字）
- ●聖歌隊
- ●シャローム

制服紹介
Uniform

GIRL SLACKS

WINTER

SUMMER

環境／施設 Environment & Facilities

窓から感じる日本の四季

DATA ●学園敷地面積：86,621.59㎡　約３万坪

啓明学園は広大な緑に囲まれ、生徒たちは毎日その広い庭を思う存分駆け回り、時には多摩川にも出かけ、自然の香りや肌触り、四季の変化を全身で受け止めながら学校生活を送っています。ここで過ごす６年間で、頭と体で記憶することにより、五感が磨かれ豊かになっていきます。

■北泉寮
東京都の文化財指定を受けた日本建築。
生徒たちが日本の伝統文化や
歴史を学ぶ場にもなっています。

■多目的ホール
昼休みや放課後などにさまざまな
イベントが開催されます。

■体育館

■一般教室

■学園正門

■図書館

■国際教室

■大教室

■コンピュータ教室

■カフェテリア

■北泉寮

啓明の不易と流行

Mixture of unchangeability and openness to new changing things

世界をつなぎ、未来に輝く。

Connect with the Wor ld For Brighter Future.

ここからの啓明

人種の異なる人、言語の異なる人、文化の異なる人、毎日を
国際色豊かな啓明学園だからこそ学べること。
世界を知り、世界をつなぎ、

We became friends as we spent time together learning
We can learn a variety of things at Keimei because we are so
Know the world, connect with

一緒に過ごすうちに、いつの間にか仲間になっていた。
啓明学園には、まだ見ぬ世界が広がっている。
世界で輝く人になろう。

about our different races, languages and cultures.
diverse. At Keimei, we can see through each other's eyes.
the world, for a brighter world.

これからの啓明

学園の始まり

啓明学園は、1940年4月に三井家総本家11代目、三井八郎右衛門の実弟、三井高維氏によって創立され、2020年に創立80周年を迎えました。東京の赤坂台町にあった私邸を開放し、海外に勤務する方々の子女たちが、将来世界に雄飛し、国際的に奉仕ができ、信仰を持てるようにと、人材の育成を目指したことが学園の始まりです。1943年、東京近郊、昭島市拝島町に三井別邸を寄贈され、現在は校地約3万坪の高台に4棟が建てられています。多摩川の清流が眼下に広がり、自然に恵まれた環境の中で、のびのびと生活を送ることができる学園です。

初代の理事長には伯爵樺山愛輔氏、学園長には前立教大学学長の木村重治氏が就任するなど、国際的に活躍していた人物が学園の要職を占めており、教育理念をはじめとする学園の価値観を創造する原点となりました。

●世界情勢が戦争へと激動する時代に、帰国子女8名が入学しました。

学園の歴史

1940年 3月 東京都港区赤坂台町において啓明学園小学校の創立が許可される。
4月 三井高維私邸を校舎として、教員13名、生徒8名で入学式が行われる。
1941年 4月 中学部、高等女学部の設置が許可される。
1943年 4月 三井八郎右衛門氏により、現在の土地建物が啓明学園に寄贈される。
9月 中学部、拝島に移り寮教育を行う。
1944年 8月 初等学校3年生以上の児童・生徒、拝島へ学童疎開。中学部、赤坂台町へ戻る。
1945年 5月 赤坂台町の校舎、空襲により焼失。
10月 拝島で授業再開。
1967年 9月 幼稚園を設置。
1972年 4月 初・中・高に国際学級を付設。
1979年10月 啓明学園国際教育基金設立。
2020年 創立80周年。

学園の創立者三井高維先生は、英国での留学を終えて、家族で帰国しました。そして、英国で受けた教育を活かし、「国際社会で活躍できる教育の実践」を目指す帰国子女教育の学校を、1940年4月、東京赤坂台町の私邸を開放し、「啓明学園」としてスタートさせました。

創立者は、「学校は伸びやかな人を育てるために必要であり、広い視野、豊かな人間性と独自の見識を持ち、日本だけでなく世界の子どもをも教育していく使命がある」と言い続けていました。学園には「国際生」と言われる帰国生や外国籍の子弟など多文化の生活を経験した生徒たちが30%以上在籍しています。中高の多感な時期にこのような生徒たちと触れ合うことで、さまざまな文化を身近に感じ、その多様性をお互い認め学ぶ姿勢が身につくと考えています。

また、学園ではクラブやボランティア活動に参加すると同時に、基礎学力を身につけることを重視しております。国際化の中で活躍する力として、他者の意見に耳を傾け、互いの考えや主張の違いを認め、自分自身がどのように行動すればよいかを考える思考力や判断力に加え、問題点を見出し解決する力を持つことが求められています。一人ひとりが社会の一員として何ができるかを考え、行動する力として「広い視野のもと、豊かな人間性と独自の見識を持ち世界を心に入れた人を育てる」という教育理念を今後も実践していきます。

理事長　北原 都美子
Chairman of the Board of directors **Tomiko Kitahara**

「世界を心に入れる」

学園の理念の一節に「世界を心に入れた人を育てる」とあります。「世界に目を広げる」とか、「世界に思いを馳せる」などとはよく聞く表現ですが「世界を心に入れた人」とはどういった人でしょうか？

ここでの“世界”とは、“多様性”と置き換えることができるでしょう。人が集まれば年齢・性別・趣味嗜好・政治信条は異なります。ましてや啓明学園のように世界に門戸をひらいている学校であれば、さらに人種・国籍・宗教が異なる生徒が集まってきます。そのことを先入観や偏見を持つことなく、当たり前と受け入れ、さらには自分とは異なる部分に関心を持ち、学んでいきましょうというのが、啓明学園の理念なのです。

世界は多様性に富んでいます。だから面白い。それを一人ひとりの心のなかに入れることができれば、人生はとても豊かになるでしょう。「世界を心に入れる。」私はこの言葉が大好きです。啓明学園の生徒一人ひとりの心に多様な世界が宿るような、そういう教育をしていきたいと思います。

中学校高等学校 校長　大坪 隆明
Principal **Takaaki Otsubo**

■ 学校説明会・行事日程 ＜日程が変更になる場合がありますので詳細は本校ホームページでご確認ください＞

4月30日(土)14:30～ オープンスクール
6月18日(土)10:30～ 第1回学校見学会
6月25日(土)10:30～ 第2回学校見学会
7月23日(土)10:00～ 第3回学校見学会
7月30日(土)10:00～ 授業体験会
8月 3日(水)10:00～ 授業体験会
8月27日(土)10:00～ 第4回学校見学会

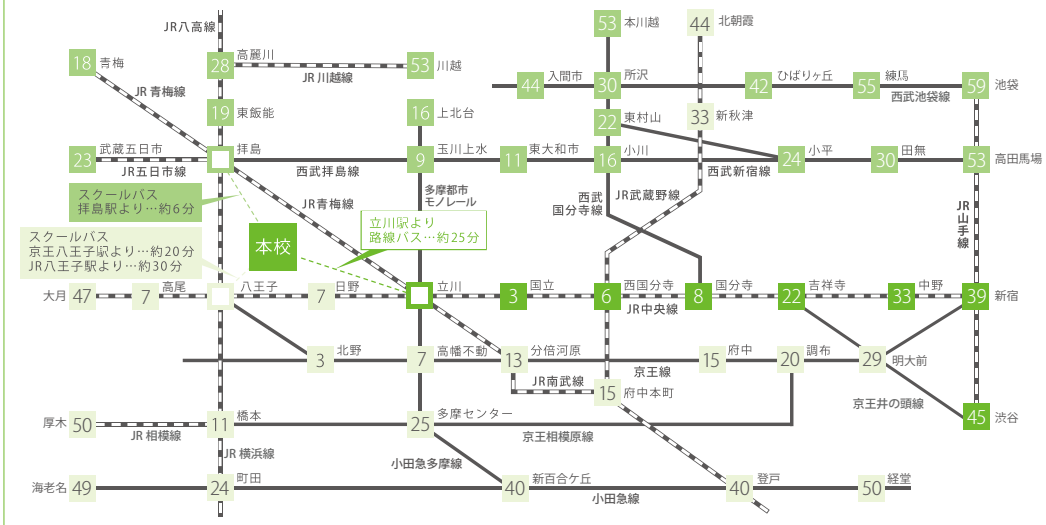
10月 8日(土)14:30～ 第1回学校説明会
10月22日(土)14:30～ 第2回学校説明会
11月 5日(土)14:30～ 第3回学校説明会
11月19日(土)14:30～ 第4回学校説明会
12月10日(土)14:30～ 入試問題解説会

2023年
1月14日(土)14:30～ 入試体験会

9月17日(土) 18日(日) 啓明祭 10:00～ ・入試相談コーナーがあります

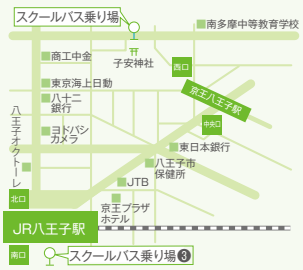
■ アクセス

Route Map



八王子駅スクールバス乗り場

■ JR八王子駅・京王八王子駅バス乗り場

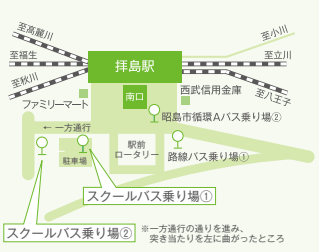


【JR八王子駅】
南口ロータリー❸番バス乗り場より
● スクールバスで、約30分

【京王八王子駅】
西口より徒歩3分でバス乗り場へ
● スクールバスで、約20分
途中、乗降場数カ所あり

拜島駅スクールバス乗り場

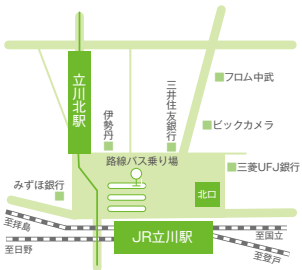
■ 拜島駅バス乗り場



【拜島駅南口】
南口スクールバス乗り場 ① ②より
● スクールバスで、約6分
路線バス乗り場より
路線バスで、約10分
「立川駅北口」行き ▶「啓明学園」下車
「拜島循環」行き ▶「やまのかみ会館」下車

JR立川駅 路線バス乗り場

■ JR立川駅バス乗り場



【JR立川駅北口】
北口バスターミナル⑩番乗り場より
路線バスで、約25分
「拜島駅」または「拜島操車場」行き ▶「啓明学園」下車

啓明学園中学校
Keimei Gakuen Junior High School
〒196-0002 東京都昭島市拜島町5丁目11番15号 TEL:042-541-1003(代表)
HP https://www.keimei.ac.jp/jsh/